

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●スプリンターズSはストレイトガールが優勝

10月4日(日)の4回中山9日・第11レースとしておこなわれたスプリンターズS(G I)ではストレイトガール(牝6歳/栗東・藤原英昭厩舎)が優勝、本年のヴィクトリアマイルに続くG I・2勝目をあげました。6歳牝馬がG Iを2勝するのは中央競馬史上初となります。

●武豊騎手が前人未到のJRA重賞300勝を達成

10月3日(土)の4回阪神8日・第11レースとしておこなわれたシリウスS(G III)ではアウオーディーが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、JRA重賞レース300勝を達成しました。これは中央競馬史上初の記録となります。

●マジンプロスパーらの競走馬登録抹消

2011年佐賀記念(佐賀/Jpn III)の勝ち馬メテオロロジスト(牡8歳/栗東・池江泰寿厩舎)は、10月3日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績27戦5勝・地方1戦1勝で、今後は福岡県福岡市の乗馬クラブルヴァード花畑で乗馬となる予定です。2011年新潟大賞典(G III)の勝ち馬セイクリッドパレー(牡9歳/美浦・高橋裕厩舎)は、10月6日(火)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は50戦4勝で、今後は新潟競馬場で乗馬となる予定です。2012年・2013年CBC賞(G III)などの勝ち馬マジンプロスパー(牡8歳/栗東・中尾秀正厩舎)は、右肩跛行のためスプリンターズS(G I)を出走取消後、右前深屈腱炎を発症していることが判明、10月7日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は35戦7勝で、今後は北海道新冠町のハシモトファームで種牡馬となる予定です。

●北海道市場でオータムセール開催

10月5日(月)から7日(水)、北海道新ひだか町の日本軽種馬協会北海道市場において、日高軽種馬農業協同組合主催による「2015オータムセール」が開催されました。656頭(牡279頭・牝377頭)が上場され、売却頭数432頭(牡204頭・牝228頭)、売却率65.9%(牡73.1%・牝60.5%)、売却総額14億7690万円、平均価格341万8750円を記録。最高額をつけたのはラヴァリーノの2014(牡/父ストリートセンス)で1944万円でした(価格はすべて税込)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●日本テレビ盃はサウンドトゥルー、コパノリッキーは3着

日本テレビ盃(Jpn II、10月7日、船橋、1800m)は、中団から追いつけた3番人気のサウンドトゥルー(大野拓弥騎手、騾5歳、父フレンチデピュティ)が直線半ばで抜け出し、3馬身差で楽勝。2番人気のクリソライトが2着、逃げた単勝1.6倍で1番人気のコパノリッキーは3着、ラヴィアンクレールは4着に敗れています。

●マイネルバイカが白山大賞典(金沢)で重賞初制覇

白山大賞典(Jpn III、10月6日、金沢、2100m)は、3番手を進んだ4番人気のマイネルバイカ(柴田大知騎手、牡6歳、父ロージズインメイ)が、逃げ粘る2番人気のエーシンモアオーバーを残り50mで捉えて優勝。3番人気のソリタリーキングが3着、1番人気のソロルは差のある5着、スギノハルバードは11着でした。

●10月12日の南部杯(盛岡)で連覇を狙うベストウォーリア

マイルチャンピオンシップ南部杯(Jpn I、盛岡、1600m)は、ベストウォーリアが中心、以下ワンダーアキュート、ポアゾンブラック(北海道)、アドマイヤロイヤル、タガノトネール、エーシンビートロン、ハッピープリント(大井)、ダブルスターの順に有力視されます。

●チェストケリリーらが参戦、10月15日のエーデルワイス賞

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、門別、1200m)は、JRAからは唯一ダート経験のあるチェストケリリー、ダート未経験のスズカブリズム、ディーブプラネット、デルマオカが出走予定ですが、地元北海道のタイニーダンサー、モダンウーマンが強敵です。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●凱旋門賞は英ダービー馬ゴールデンホーンが快勝、トレヴは4着

第94回凱旋門賞は10月4日、バリのロンシャン競馬場で行われ、ゴールデンホーン(牡3歳、父ケーブクロス)が2番手から抜け出して快勝しました。ここは追加登録料12万ポンド(約1600万円)を支払っての出走で、不利な外の14番枠が嫌われ、3番人気でした。昨年2着のフランス馬プリントシャー(牡5歳)が2馬身差の2着に入り、クビ差遅れて今年の仏ダービー馬ニューベイ(2番人気)が3着。史上初の3連覇を目指した大本命のトレヴは中団後ろの外から伸び切れず、さらにハナ差の4着。良馬場の勝ちタイムは2分27秒23。勝利騎手は凱旋門賞タイ記録の4勝目となるL.デットーリ。J.ゴスデン調教師(英)と「良馬場ならトレヴに負けるわけがない」と豪語していた馬主のA.オッペンハイマー氏はともに初勝利。ゴールデンホーンはこれで8戦7勝、うちG I・4勝。今後は10月31日のブリーダーズC・ターフ(米G I)を使って種牡馬入り、トレヴはこれで引退の予定。このあとロンシャン競馬場は改修工事に入り、来年の凱旋門賞はシャンティール競馬場で行われます。